

サポセン講座

「助成金獲得のための講座(福島県主催・須賀川市民活動サポートセンター共催)」



須賀川市民活動サポートセンターでは、登録団体のスキルアップ等を目的とし、サポセン講座を開催しています。令和4年10月25日(火曜日)に、一般財団法人非営利組織評価センター業務執行理事の山田泰久氏を講師に迎え、「助成金獲得のための講座」を開催し、市内外から22団体が受講しました。講座では「活動の価値化(活動を言語化して価値として理解してもらえるよう伝える)」、「助成金のマッチング(助成金をよく知り、自分たちの活動の内容や規模に合っているものを探す)」、「助成金で行う事業だけではなく、その後を意識することが大切(2~3年後の中期目標、最終的に団体が目指す目標を考える)」などの話がありました。助成金の基本や見つけ方、申請する時のポイント、助成金の活用方法など詳しく説明され、参加団体からは、「とても参考になった。今後の活動に活かしたい」などの感想がありました。

場所 市民交流センターtette でんぜんホール
日付 令和4年10月25日(火)

新規登録団体紹介

IPPO-IPPO(いっぽいっぽ)

「IPPO-IPPO」では、様々な体験や交流を通して地域の方が見守る中、子どもが健やかに成長し、大人も子どもと共に学び育つことができるような環境をつくることを目指して活動しています。現在は、稲田地域において、子ども食堂・子どもの居場所づくりの事業を展開しています。



☎090-9635-0416(遠藤)

SDGs特集③ SDGsに取り組む際に大事なポイント その2

●バックキャスティングとは

未来の姿から逆算して現在の施策を考える発想を「バックキャスティング」といいます。

例えば、「2030年プラスチックゴミゼロの海」という目標を立てます。その実現のために「ペットボトルを分別する」「砂浜の清掃をする」などは、すぐに実行できますが、それだけでは目標を達成するのは難しいでしょう。目標達成のため、「プラスチック製品の製造をやめる」「自然素材を取り入れる」など、先に大きな目標を立て、具体的な方法を後から何とか考えるのがバックキャスティングに当たります。できるかどうかを考えずにまずは自由にアイデアを出すこと、大きなビジョンを持つことを言います。

SDGsへの取り組みには「バックキャスティング」のような大胆な発想を持つことも重要なのかもしれません。



須賀川市民活動サポートセンター(須賀川市民交流センターtette1階)

〒962-0854 須賀川市中町4-1

TEL.0248-73-4407 FAX.0248-73-4410 <https://s-tette.jp>

市民活動に関する相談 9:00~17:00

交流スペースの使用 9:00~21:00(日、祝日は20:00まで)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館時間を変更する場合があります。

サポセンだよりをwebでご覧になる方は
こちらから(イベント詳細もこちらから)



須賀川市民活動サポートセンター サポセンだより

Vol.
69
2022.12



表紙

マミーズガーデン

マミーズガーデンは、母親の子育て中の孤立を防ぎ、子育てをみんなで楽しむことができる地域社会を作りたいという想いを込めて立ち上げた子育て応援サークルです。須賀川市近郊を中心に活動を行っています。

〈問合せ〉マミーズガーデン 阿部090-9759-3195

今年開催した主なイベント

★～ハロウィンパーティー2022～

★～えいごで感謝祭を楽しもう～

★～運動ボール遊び(バルーンゲーム)～

※公益財団法人ヨークベニマル文化教育事業財団助成金事業

特集

～市民のチカラ～ 須賀川市スポーツ鬼ごっこ愛好会 ～サポセンレポート～

須賀川市赤十字奉仕団、須賀川市手つなぐ親の会
須賀川棋友会、須賀川知る古会、須賀川手話サークルあゆみ会
須賀川市中央図書館ブック・クラブ

～サポセン講座～ 助成金獲得のための講座

～新規登録団体紹介～ IPPO-IPPO(いっぽいっぽ)

SDGs特集③

SDGsに取り組む際に大事なポイント その2

市民のチカラ

須賀川市スポーツ鬼ごっこ愛好会



活動のきっかけ

2014年に「スポーツ鬼ごっこ」をインターネットで知り、実際に体験してみると想像以上に楽しく、この競技に魅了され、子どもたちだけでなく親子で楽しめると感じました。その後、「スポーツ鬼ごっこ」のライセンスを取得し、この競技を広く普及するため、「須賀川市スポーツ鬼ごっこ愛好会」を立ち上げました。同時に試合を中心に活動する「すかがわスポーツ鬼ごっこクラブ」も開始しました。

主な活動

月に2回の頻度で、金曜日の夜に「スポ鬼タイム」という体験会を市中央体育館で開催しています。また、毎週水曜日に「放課後鬼ごっこ遊び」を子どもの居場所づくりを目的として実施しています。興味のある方は是非お気軽に問い合わせください。

活動の中で よかつたこと

「スポーツ鬼ごっこ楽しい!」と言ってくれる子どもたちに囲まれて活動ができる。そして学校の体育の授業でも取り入れていただけたらと思っています。また、現在、子どもたちの運動不足や肥満などが問題となっているので、自身の理学療法士の知識を活かしながら、スポーツ鬼ごっこを通して、運動が好きな仲間を増やしたいと考えています。

今後の抱負

〈問合せ〉

須賀川市スポーツ鬼ごっこ愛好会 会長 廣田 智
☎090-6459-5183

サポセンレポート

今号では令和4年9月からの活動をお届けします。各団体とも、コロナ禍の中でも感染症対策を講じる等の工夫をしながら活動を行っています。活動に興味のある方は、各団体またはサポートセンターへご連絡ください。

01 須賀川市赤十字奉仕団

「チャリティーバザー」



毎年恒例のチャリティーバザーを2日間にわたり開催しました。団員や市民から寄せられた衣類や食器、雑貨、団員の手作り小物などを販売しました。来場者は思わず掘りだしものを発見し、また、牡丹園に観光に来た方々も足を止める姿が見られました。今回の収益金は歳末たすけあい募金、海外たすけあい募金に全額寄付しました。

場所 須賀川牡丹園 日にち 令和4年11月3日(木・祝)、4日(金)

☎0248-75-0641(林)

03 須賀川棋友会

「下島陽平八段指導碁会」



参加者は、プロ棋士の視点に感心しきりで、プロ棋士と直接対戦できる貴重な機会に大満足の様子でした。

場所 市民交流センターtette ルーム5-1 日にち 令和4年10月24日(月)

☎0248-73-3654(古川)

05 須賀川知る古会

「神楽殿寺子屋」



須賀川の歴史や文化、自然を知る企画として「神楽殿寺子屋」を全4回開催しました。各回ともたくさんの方が参加し、須賀川の歴史・文化・先人・樹木について学びました。野鳥についての話や旭ヶ岡公園の美しい紅葉を楽しむことができ、参加者は各回とも熱心に話を聞き、須賀川への理解をより深めようでした。

場所 朝日稲荷神社神楽殿、市民交流センターtette
日にち 令和4年9月17日(土)、10月9日(日)、10月23日(日)、11月5日(土)

☎0248-75-3005(影山)

02 須賀川市手をつなぐ親の会

「地域住民とのレクリエーション」



須賀川市手をつなぐ親の会は、知的障がい児・者を守り、その福祉の増進を図るために活動しています。障がい児・者とその家族、須賀川市赤十字奉仕団、地域の方合わせて29名の参加があり、体操や輪投げ、玉入れ、宝拾いなどを地域の方と一緒に楽しみました。

場所 市民スポーツ会館 日にち 令和4年11月5日(土)

☎0248-62-6040(長谷部)

04 須賀川手話サークルあゆみ会

「須賀川手話サークルあゆみ会50周年のつどい」



あゆみ会は昭和47年10月に発足して以来、耳の不自由な市民の方が社会に参加できるよう活動してきました。50周年のつどいでは、会員や関係者など約50人が参加し、創立50周年を祝いました。

記念講演・パネルディスカッションも行われ、今後必要とされる活動について意見を交わしました。

場所 大東公民館 日にち 令和4年11月6日(日)

☎0248-75-3631(箭内)

06 須賀川市中央図書館ブック・クラブ

「例会」



kokoyoriの代表熊田さんを招いて交流会を開催しました。今回の交流会は、ブック・クラブ世話人の富樂さんが、7月に参加したサポートセンターでkokoyoriの子ども食堂をはじめとする地域に根差した活動を会員が知ることで、今後、自分たちの活動に活かしていかたいと考えています。

場所 市民交流センターtette たみルーム 日にち 令和4年11月14日(月)

☎080-3199-6977(富樂)